



NuPrime 新製品プリアンプ AMG PRA

NuPrime の最上位アナログプリアンプとなる AMG PRA は、 $1M\Omega$ の入力インピーダンスを誇り、選択可能な 4 段階のラウドネスコントロール、2 段階のゲイン切り替え機能を備え、Hi-Fi システムの性能をより向上させることができます。

AMG PRA の設計目標は、これまで以上に透明なサウンドのアナログプリアンプを実現することでした。最良のアナログ入力を実現するために $1M\Omega$ 入力インピーダンスを採用。

また、単純に低周波数帯域を持ち上げる「バスブースト」機能ではなく、接続されるスピーカーに合わせ、低音域の広がりにより自然なロールオフが実現できるよう、ラウドネス効果を 4 ステップから選択できるようにしました。

また、2 段階のアウトプットゲイン設定、位相反転機能により、AMG-PRA は他社製のパワーアンプとの親和性も高められています。

◇仕様

入力端子: RCA × 3、XLR × 1

出力端子: RCA × 1、XLR × 1

再生周波数: 10Hz to 200kHz; +0 to -0.1dB

THD: 0.008 %

入力インピーダンス:

・バランス入力: $1M\Omega$ @ 10 Hz ~ 200 kHz

・ライン入力: $1M\Omega$ @ 10 Hz ~ 200K Hz

定格出力電圧: 2 V (ライン) / 4V (バランス) @ 100 Ω

ボリュームレベル: 100 ステップ (表示「92」で 0dB)

S/N: 95 dB

ラウドネス設定 (4 段階)

・フラット

・2.2 dB (125 Hz)

・4.5 dB (100 Hz)

・5.3 dB (75 Hz)

ゲイン切り替え (2 段階)

・3.2dB (High) / 2.1dB (Low)

位相切り替え(フロントのスイッチにより切り替え)
リモコン付き



NuPrime 新製品パワーアンプ AMG STA

AMG STA は、パワーアンプの設計においていくつかの新機軸を採用しています。1M Ω の入力インピーダンス、そして瞬時の電力供給能力、さらにはクラス D のスイッチング周波数の向上。また、BTL 接続で MONO 仕様時には 300W(8 Ω)出力を獲得。

AMG STA に採用された PCB(基板)は、外部干渉からの影響を出来る限り遮断するためシールドを統合しています。搭載されている 300 MHz 帯域幅の JFET は、超高入力インピーダンスと広帯域に渡る高速応答を提供。ダイナミクスを活かした設計により、自然で豊かな音楽再生を可能にしました。結果的に、オーディオ信号の最も繊細なディテールは一切損なわれず、非常に繊細で透明度が高い再生水準はクラスを超えたもので、ハイエンド機器に比肩できるものです。

AMG-STA は、「シングルエンド無帰還」クラス A モジュールと新開発「二重フィードバック」クラス D 回路を使用します。クラス D の発振周波数は STA-9 の 1.4 倍に相当する 700kHz に上げられています。

電源には 380W 特殊巻線電源トランスを採用。同様のコアボリュームと比較において、30%以上のピーク出力性能を備えています。インレットコネクタから電源トランスへの AC 配線には、高電流溶接ラインを利用して最大効率の電力伝送を行い、さらに高周波 3 次 AC パワーフィルターによって外部ノイズを低減しています。

トランスとマザーボードは、2つの 10A ピーク整流器を並列使用し、20A のロックワイヤーターミナルブロックで接続。大電流設計を採用したメイン電流経路は、低インピーダンスの銅板でアンプ回路への電力供給が最大化されています。

◇仕様

出力(ステレオ): 2 \times 130W @ 8 Ohm 、 2 \times 200W @ 4 Ohm

出力(モノラル): 2 \times 300W @ 8 Ohm 、 2 \times 320W @ 4 Ohm

定格電流: 10A(ピーク時 15A)

ゲイン : 26dB(ステレオ) 、 52 dB(モノラル)

S/N 比 : 100 dB @ 10W

THD+N : 0.006

再生周波数 : 10Hz~50K Hz \pm 0.2dB @ 8 Ohm. 58K Hz @ -3dB

入力インピーダンス: 1M Ohm

入力感度: 1.2 Vrms(ステレオ); 0.95 Vrms(モノラル)



NuPrime 新製品オーディオ専用ハブ Omnia SW-8

Omnia SW-8 は 100/1000 Base-T ギガビット対応のオーディオ専用 HUB。ネットワークに生じる信号ノイズを低減することにより、ネットワークのパフォーマンスを、ひいては Hi-Fi システムの総合音質の向上に貢献します。

ネットワークで通信エラーが発生するとデータパケットは再送信されることとなり、結果ネットワークのパフォーマンスが低下します。回路と電源のノイズを低減し、カスタマイズされた TCXO クロック(※1)を使用することで、Omnia SW-8 はより安定した音楽データ伝送を行い正確なネットワーク信号を提供します。またアルミ筐体内部に高周波を除去する EMI アブソーバーを採用し、筐体内部のノイズを低減してネットワーク信号への影響を根絶。ハイエンド・オーディオシステムの総合音質向上に貢献します。

※TCXO(温度補償水晶発振器)

水晶発振器の一つで、範囲の広い温度補償回路と精度の高い水晶振動子を組み合わせ極めて安定した発振信号を出力します。Omnia SW-8 に採用されている TCXO は、標準の TCXO よりもはるかに高い精度を持つカスタマイズされたものです。その結果、より正確なネットワーク信号と安定した音楽データ伝送が実現します。

◇仕様

- ・インターフェース: 8 × Audio Grade 100/1000 Base-T ポート
- ・電源 LED(緑) × 1
- ・アラーム LED(赤) × 1
- ・ポートステータス LED(リンク/アクティビティ) × 8

メインクロック精度: 25° C で 0.1 ppm

主電源回路: 17.78 dB @ 100MHz x2

クロック生成回路: 20.79 dB @ 100MHz x2

外部電源: 5VDC 5W AC アダプター

製品の寸法(W×D×H mm) : 154.5mm × 85mm × 26mm

重量: 1.2 Kg(総重量)

